



トガリネズミラヴァー
六田晴洋の

私たちの ご近所さん



VOL. 24 「冬のトガリネズミの謎」

白糖で過ごす4回目の冬が終わりました。去年くらいからだろうか、「今年もだめだったか」と冬の終わりはモヤモヤした気分です。私には今、解明したい謎があります。それは、トガリネズミたちは冬、どこで何を食べて暮らしているのか?というもの。約4時間何も食べないと死んでしまう宿命を背負っている大食漢のトガリネズミ。それが、主食の虫がほばいない冬に冬眠



風紋が美しい冬の恋間海岸



雪の下で活動するトガリネズミ

もせず、どうやって生きているのか。考えれば考えるほど不思議です。今はそれを解明して撮影することを目標にしています。しかし、さまざまな壁があり思うように進んでいません。時間だけが過ぎていく焦りも感じています。でもできることを少しずつやっていくしか道はありません。いつか「そうだったの

か!トガリネズミすげえ!」と感動する時が来ることを信じて。
どこで何を食べているのか?
もしもトガリネズミが冬眠する動物であれば、こんな謎は生まれていません。でも実際、雪の下で彼らは動き回っています。

時々、雪の上にも出てきます。クマやコウモリ、シマリスなどの冬眠する哺乳類は冬、食べ物が少なくて体温を保つことが難しいから冬眠します。では、なぜトガリネズミは冬眠しないのか?それは、食べ物があるからこれが理由であることに他なりません。

私は冬の恋間海岸でくまなく虫を探しました。全くいないわけではありませんが、トガリネズミが必要とする量には到底およびません。トガリネズミたちは一体どこで何を食べているのか?。
これを解明したい気持ちとは別に、一生のうちでこんなに面白いことにあと何回出会えるのだろうかとも思っています。

まだしばらくは謎のままであってほしいような複雑な心境です。

PROFILE

六田晴洋 ろくた はるひろ

1986年生まれ。

2021年に白糖町へ移住。

大学卒業後、フリーランスの

カメラマンやディレクターとして野生動物や自然風景を撮影している。<https://rokutaharuhiro.com>

